

(様式1)

## 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	5182
部名	学校教育部	課名	指導課	課長名	小塚牧夫	
事務事業名	水泳授業指導協力者派遣事業					
予算上の事務事業名	水泳授業指導協力者派遣事業					
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14120			
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度	
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実				平成7年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	水泳授業指導協力者派遣事業実施要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
市立小学校の通常学級に在籍する水泳指導に配慮を要する児童の授業に対し、教員の指導に援助協力する水泳授業指導協力者を派遣し、水泳指導の安全と指導の向上を図る。					相模原市立小学校	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
1 小学校あたり9～10単位時間(1単位時間:90分)を限度として、水泳指導協力者を派遣する。 ・指導協力者への謝礼 @3,000×415回=1,245,000						
6 関連・類似事業や他市の状況	同様の事業として、県が学校体育実技指導協力者派遣事業の中で水泳授業に対する指導協力者を派遣しており、本市においても小学校55校中8校がこの事業の適用を受けた。なお、県の財政状況から、この事業の拡充は難しい。					
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	1,098	1,020	1,245	1,350	1,350	
一般財源	1,098	1,020	1,245	1,350	1,350	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	239	230	232	232	232	
事業コスト合計(a)	1,337	1,250	1,477	1,582	1,582	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	水泳授業指導協力者派遣事業			対象名称(単位)	対象小学校数	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	1,337	1,250	1,477	1,582	1,582	
対象数	44	45	47	47	47	
単位あたり経費(円)	30,386	27,778	31,426	33,660	33,660	
前年度比		0.91	1.13	1.07	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	派遣回数（回）		指標式と指標の説明	派遣回数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	365.0	337.0	415.0			
目標	450.0	460.0	450.0	450.0	450.0	
目標達成度	0.81	0.73	0.92			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	安全な水泳授業の実施率（％）		指標式と指標の説明	水泳授業で事故が無かった学校数/派遣学校数*100 事故が無く安全に水泳授業を実施した学校の割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	100.0	100.0	100.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	100.0	100.0	100.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[	]：良好な状態を維持する事業				
	[	]：概ね良好な状況である事業				
	[	]：見直しを行う必要がある事業				
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
<p>配慮を要する児童への支援には、水泳指導技術を有する指導協力者の派遣が有効であるが、そのような児童が在籍する学年でなくとも水泳事故は起こる可能性があるため、さらに安全な水泳授業の実施のためには、より多くのボランティア等による市民の授業参加も必要である。</p>			<p>水泳授業は、天候等気象条件により、実施日が変更となることが多く、そのため指導協力者との日程調整が困難になり、計画どおり本事業を活用できない場合がある。</p>			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				